

編 誤解されそう

# ハードロック工業

ゆるみ止めナット製造・販売

「音楽事務所とか楽器メーカーと勘違いされることはありませんとね」というこの会社。が、実際はナット界のトップ企業だ。  
 「弊社のメイン商品はハードロックナット。ハードに『堅く』ロックスする『締める』という意味です。ウチの社長は以前、Uナットという商品を扱う富士精密製作所という会社を経営していたんですが、それだと社名と商品名が結びつかない。そこで、74年に新たな会社を立ち上げるときに、『この商品はこの会社で作っているんだ』と一目瞭然とわかるようにしたいと考え、

## 音楽事務所とか楽器メーカーと勘違いされることはありませんね



「アメリカではさすがに『ハードロック』で有名な商標が取れなかった(笑)。向こうには『ハードロックカフェ』とかもありまして。現在は『ハードロックナット』で再申請しています」  
 音楽はさておき、ナットの『日本製ハードロック』は世界に誇れますだ。

主力商品の名をそのまま社名にしたこと(す)『企画部・小林雅彦氏』  
 また当時からナットでの世界進出も視野に入れていた。『富士精密製作所のような日本的な社名よりも、英語にしたほうが海外でウケがいいだろう』と、実際、欧米の取引先などは、こういったシャレた社名に対して食いつきがよくて、海外進出も順調です。この社名は海外での認知度アップにかなり貢献してくれていると思いが……。ただ、一つだけ難点が……。『アメリカではさすがに『ハー

# ヤリステ

コンベヤ自動替替え装置などの開発 製造 販売

「インパクトがあるので覚えてもらいやすいですが、**やつたらやりっぱなし**」のようにとらえられてしまうと、マイナスイメージになります。

# あたりや商事

不動産業

同社のHPによると「**客がよい物件に**あたり**ますように**」が由来らしいが、どうもあらぬ商売を想像しちゃう……。怒られるのを覚悟で電話すると、二代目社長が開口一番「私の代で変えよう」と

つてしましますよ(苦笑)」と同社の広報担当者も自認しているが、実はこの「ヤリステ」の由来には古い歴史があるとか。  
 「百数十年前の社長のご先祖様は鎗鍛冶の職人だったんですが、弊社の創業者に当たるそのご先祖様は「**捨松**」という名前だったぞうなんです。その「鎗屋の捨松」を略し、さらに「捨」の字を変えた

思っただんだ。費、わざと車に当たる商売あつたじゃない。そんな仕事してんのかって冷ややかに見たからと、ぶっちゃけ発音でも「一流会社の社長や重役から『変えないほうがいい。会社も社員も自立たなきや出世しない』と助言され、考え直したぞう。」

「『流行りの横文字やカタカナの名前なんてすぐ忘れちゃうけど、ウチは一度聞いた名前もないもんね。社名を考えたのは創業時の番頭らしい。昔、遊郭にあった弓矢射つて『あたり』って言うやつ。そこで『あたり』と思っただけ。え、『よい物件に、**あた**るんだ』は!? 『あとからそれらしい理由を考えた』って、こじつけかい?」

# もっこり竹の子観光

観光バス業

「たんぼほ『ひまわり』などの候補の中から選ばれたという『竹の子』。あつという間にすくすく育つから」ということで「竹の子」が選ばれたというの理解できるが……なぜ「もっこり」?  
 「ただの『竹の子観光』だと物足りない気がしたんです。そこで『笑つていいとも!』の『笑つて』のように、頭になか響きのいい言葉

をつけようと考えたとき、**もっこり**がフツと頭に浮かんだんです。まあ、最初は周囲から反対されましたけど、三瓶久社長が社名が面白いという理由で新規の取引先ができたというメリットもあるよんだが、バスガイドさんか脱着しちゃうんじゃあ? 「会社設立当初は、『もっこり竹の子観光バス』をご利用いただきました。して」と言のに隣隣していた方もいたよですが、最近では小学校の遠足などは、『もっこりバスに』乗つてますよ」とと歌を歌うらしい馴染みでもってますよ。ただ、皇居で行われる御覧のセレモニーでの送迎の仕事は、車体に社名が入っているために、宮内庁関係の方から、次回からは勘弁してください」と断られたことでもあります(苦笑)。  
 宮内庁で、『もっこり』とはいかがなものか」と議論する社名って、ある意味スクールがデカイ!